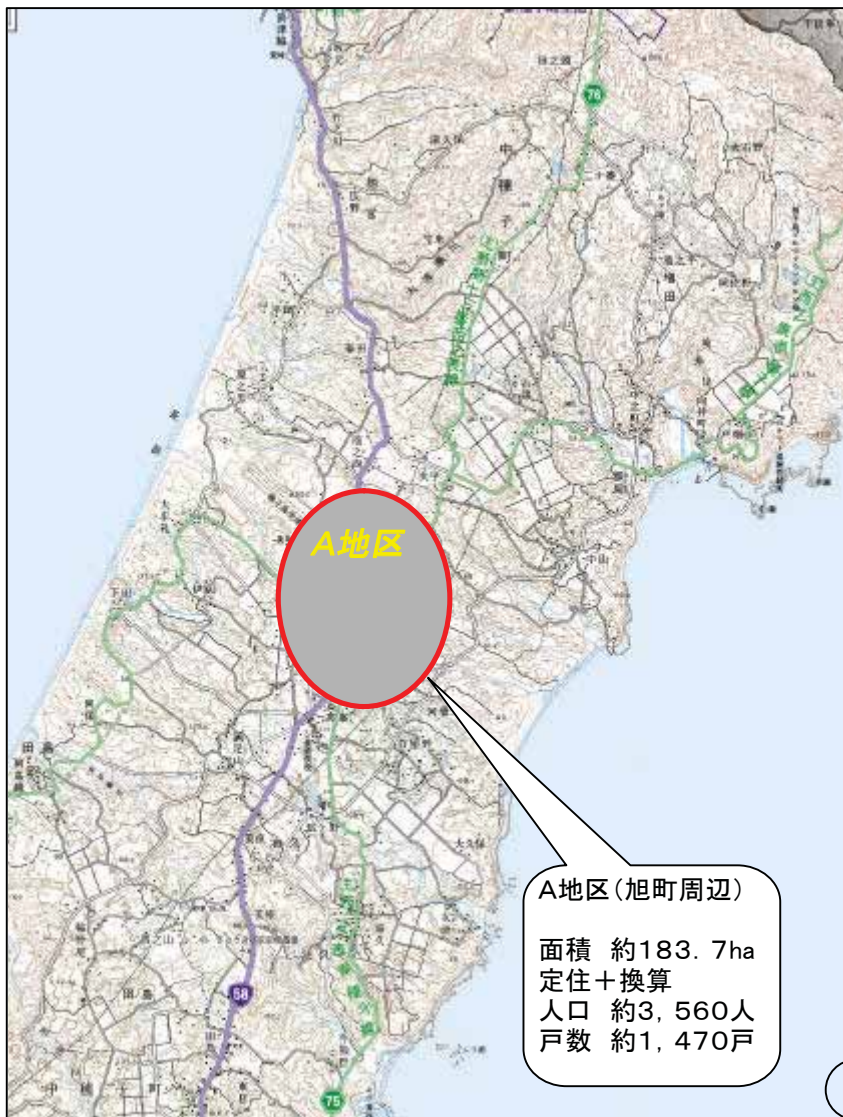


## 「鹿児島県下水道等整備構想」に係る市町村構想について

- 1 本年、県が汚水処理施設整備の長期的方針である「県下水道等整備構想」見直すことに伴い、中種子町でも今後の汚水処理施設の整備方針を作成しました。（今回の整備方針に基づき、今後事業の実現可能性を検討します。）
- 2 中種子町では、現在合併浄化槽の整備を推進しています。
- 3 町内で人口が密集しているA地区について、下水道事業等の集合処理施設の整備が経済的に優れているか検討しました。
- 4 上記A地区において経済性を判定したところ、集合処理による整備が経済的に有利と判定されました。
- 5 A地区については、地域要件や国、県の助成制度等を勘案した結果、下水道事業による整備を今後検討していくこととしました。その他の地域については、合併浄化槽を推進していくこととしました。



\* 汚水処理施設の処理方法には、人家が密集している地域の汚水を1箇所に集めて処理する集合処理方式と、人家がまばらな地域において各家庭の敷地内に合併処理浄化槽を設置して処理する個別処理の2方式があります。

\* 汚水処理施設の種類の中には、市街地に整備する「下水道」、農業集落や漁港の背後集落に整備する「集落排水」、人口散在地域に整備する「浄化槽」があります。

\* 経済性を判定するに当たっては、国土交通省、農林水産省、環境省が作成した統一的な経済比較のできる計算式を使用しています。